

2019 年度 重点事業

■学科長サミットの開催

今後を担う若い世代の同窓会活動への理解と積極的な参加を実現するためには、準会員である在學生が母校や同窓会への帰属意識を高めることも必要となります。そこで、5月に工学部・保健医療学部・未来デザイン学部の各学部長・学科長と雪嶺会本部役員（会長・副会長・三役）が一堂に会し、活発な意見交換を行うための「学科長サミット」を開催しました。各学科教員に対して同窓会の意義を周知する共に、積極的な同窓会活動への参加を要請しました。

■サニーフィールズ・ジャズ・オーケストラ支部設立

今年度は「サニーフィールズ・ジャズ・オーケストラ支部」が承認されました。これまでも開催している定期演奏会などのクラブ活動のさらなる発展を期待すると共に、今後は、本部と連携した積極的なPR活動をとおして、支部員以外の卒業生と在學生とをつなぐ交流の場を提供できるような支部活動となることを期待したいと思います。サニーフィールズ・ジャズ・オーケストラ支部の設立により、雪嶺会支部は16地域支部・10学科支部・7クラブ支部となりました。

■校友会との連携強化

昨年発足した校友会幹事会もさらに機能的に活動することとなり、設置校同窓会の連携活動も前進することができました。なかでも、前田キャンパスの雪嶺会・丁酉会（北海道科学大学短期大学部同窓会）・北薬会（北海道科学大学薬学部同窓会）との連携では、在學生へのサービスについて、概ね足並みを揃えることができました。同窓会組織のあり方については、今後も検討していく必要があると考えており、今年度以上に校友会との連携を強化していくこととなります。同時に、新規の事業も積極的に立案し、雪嶺会としても同窓会活動をさらに強化していく必要があると思っています。会員のみなさま方におかれましても、今後も同窓会活動へのご協力をお願いいたします。

■各種事業等について

昨年度着手した雪嶺会活動方針等の検討事項について、サミットの開催や支部総会への役員派遣を通じて、本部意向・支部要望などの意見交換を行うことができたため、次年度以降、実現可能な新たな事業等を実施していきたいと思っています。また、予算においては、内規の見直しや要領の制定により、今後を見据えた新たな基準を設定することができました。今後も校友会との連携のなかで、同窓会費の使途が拡大される可能性も考えられるため、引き続き適正に運用できるよう、1つ1つの行事に関わる運用について内容を精査していきたいと思っています。